

雄峰

第143号

編集・発行 PTA広報部
鹿児島市郡元一丁目20番35号
平成27年11月30日



全力で真剣に それが僕らの原点だ



わきたつ思いが
つながるこの時
やるべきことをやって迎えた朝、それぞれの胸には優勝への思いがありました。自然とひきしまる子どもたちの表情。勝利を信じて競技に没頭する選手の姿。声を枯らした応援団。最後は互いの健闘をたたえ合い、次々と感謝の言葉「ありがとう」が溢れていました。言葉をこえた感動が私たち保護者の心にも響き、ひたむきな姿を誇らしく感じる一日となりました。

- 一月～三月の主な予定
- ・後期後半開始 一月八日
- ・学年学級PTA 二月二十二日～二十四日
- ・卒業式 三月十五日
- ・修了式 三月二十五日
- ・辞任式 三月二十八日



教頭 山田 剛

八月の終りの台風十五号の影響で、正門横のカイコウスの木が倒れた。何十年も附属中を見守ってきた木だった。梅雨前になると赤い花を付け、正門周辺が落ちた花で、まるで赤い絨毯を敷いたようになっていた。附中生にとって、見慣れた光景の一つであったであろう。今、その切り株から、新しい枝が力強くたくさん伸びている。何ともすい生命を感じ。時代が流れる中で、今までもこのような光景がいくつもあったのだろう。そして、附属中も長い年月をかけて、姿を変えながら、先輩から後輩へと脈々と附中魂を引き継いでいるのだと感じる。今年も第九回同窓会総会の年であった。同窓生の先輩たちに感謝の気持ちを抱きつつ、自分たちも未来の附中生へと附中魂をつなぎたい。



<p>【英語 暗唱】 第五十二回県中学校英語暗唱大会 第一位 二年 戎 和夏 第六十七回高岡宮杯中学校英語弁論大会 鹿児島県予選 第四位 三年 松元 悠緒</p> <p>【理科 鹿児島県標準展】 鹿児島県予選 第一位 二年 安田和花菜 入選 一年 米沢 祐之介 入選 三年 松元 音旺</p> <p>【昆虫の部】 鹿児島県予選 第一位 二年 安田和花菜 入選 一年 米沢 祐之介 入選 三年 松元 音旺</p> <p>【貝の部】 鹿児島県予選 第一位 一年 高良 卓秀 入選 有馬 弘大 寺園 咲花 梅 のりは</p> <p>【(岩石の部)】 鹿児島県予選 第一位 一年 有村 航河 入選 本坊 桃菜 田淵 愛子 石本 輝亮 大中原史音 小田 大輔 山本 基輝 野添希優菜 山中 基輝 西本 佳生 谷口 楓 川上ひな子 江幡 真希 飯田 素子</p> <p>【(植物の部)】 特選 一年 三原 怡華 入選 一年 三原 怡馬 前田 勇利 山本 有晟 阿多 美苗 時田知栄論 柴原 悠人</p> <p>【理科 鹿児島県研究記録展】 鹿児島県予選 第一位 二年 渡邊なな美 鹿児島県予選 第一位 二年 渡邊なな美 鹿児島県予選 第一位 二年 渡邊なな美</p>	<p>特選 二年 尾花 大雅 藤本 梨花 森山 航希 尾辻 志人 関原 美来 山岸菜々未</p> <p>【(国語) 作文】 鹿児島市中学校英語弁論大会 優秀賞 三年 小田原千晶 鹿児島県「小さな親切」作文コンクール 優良賞 二年 帖佐 芽依 鹿児島県「小さな親切」作文コンクール 優秀賞 二年 余 美央 特選 一年 吉松 健斗 二年 福田 大起 学校賞 鹿大附属中 第五十八回鹿児島生徒作文コンクール(市書志) 特選 三年 中田 万恋 二年 辛島綺羅里 一年 別枝 寛仁 川畑 瑛愛</p> <p>【美術】 第八回南日本ジュニア美術展 特選 二年 切通 大雅 入選 一年 相場 陸人 二年 石井 佑季 千代丸 伶央 三好 伶旺 田中源太郎</p> <p>【部活動 文化部】 第四十九回県中学校音楽コンクール 【夏の祭典】 金賞 吹奏楽部 銀賞 吹奏楽部 第六十回鹿児島県吹奏楽コンクール 中学校の部Aハート 銀賞 吹奏楽部 第八十二回NHK全国音楽コンクール鹿児島県大会 合唱部 銀賞 合唱部 第七十回九州合唱コンクール鹿児島県予選 合唱部 金賞 合唱部 第七十回九州合唱コンクール 合唱部 銀賞 合唱部</p> <p>【部活動 運動部・同好会】 鹿児島県総合体育大会 【陸上競技】 一年男子100m 第三位 西山 宏</p>	<p>鹿児島市郡中学校総合体育大会 【陸上競技】 一年女子走り高跳び 第四位 南 めぐみ 一年男子100m走 第一位 西山 宏 【ハンドボール】 ハンドボール部 【テニス】 男子ダブルス 優勝 帖佐 拓真 前田 大和 女子200mドレリー 第三位 木之下ひより 下村 彩綾 村場 里英 村場 里英 下村 彩綾</p> <p>女子50m自由形 和田 英江 女子100m自由形 和田 英江 女子50m平泳ぎ 第二位 和田 英江 女子400mドレリー 下村 彩綾 女子400mドレリー 第三位 下村 彩綾 男子200m個人メドレー 第一位 木之下拓海 男子400m個人メドレー 第一位 木之下拓海 男子100m背泳ぎ 第一位 新留 晴貴 男子200m背泳ぎ 第一位 新留 晴貴 水泳競技の部 女子団体 第三位 第六十一回全日本中学校通信陸上競技大会鹿児島大会 男子100m 第二位 西山 宏 県中学校一年生大会 第二位 ハンドボール部</p>
---	---	--

入賞者の声

二年五組 戎 和夏

「附中に入学して英語弁論大会に出場したい。これは私が附属中を受検した動機でした。小学校六年の時、附中の先輩が英語弁論大会で入賞され、私も附中の先生方の指導を受け、入賞したいと強く思いました。今回、英語科の先生方の熱心な御指導、仲間の助言のおかげで入賞することができました。そして今、私の夢は来年の弁論大会に向かっています。」

附中の生徒会本部 役員選挙

今年二十四名の候補者が登校時のあいさつ運動や昼食時の校内放送で精力的に選挙運動を繰り広げました。立会演説では全員が附中に対する熱い思いを語りました。本校では例年鹿児島市選挙管理委員会から本物の投票箱をお借りして、本番さながらの投票が行われています。新生徒会の飛躍を期待します。

生徒会長になつて

川津 はな

このたび、生徒会長に就任するにあたり、責任の重さをひしひしと感じています。私は、先輩と深めた「つながり」をもとに、全員が活力にあふれる生徒会にしたいと思っています。そのため、夢や個性をもつ生徒全員を応援し、前向きに何事にも挑戦できるあたたかな雰囲気づくりに努めます。保護者の皆様や先生方の御協力・御指導に感謝し、全校生徒で精一杯頑張ります。よろしくお祈りします。



生徒会本部役員

生徒会長 川津 はな(二一三)
副会長 貴島 真子(二一一)
書記長 平川 りえ(二一三)
副書記長 土 慶乃介(二一三)
企画委員長 平川 優斗(二一一)
副企画委員長 笠 春輝(二一四)
教養部長 末永 圭菜(二一一)
徳育部長 有留 和花(二一三)
保健体育部長 柴田康太郎(二一四)
情報部長 堤 光翼(二一一)
顧問 竹下 洋一先生



第56回 文化祭

2015.10.9

みんなで放つ 彩光で
輝かせよう これからの未来を

美しい光を創り出すために、何度も練習を重ねて心のつながりが深まった文化祭となりました。



百花斉放



文化祭を終えて
実行委員長 齋藤 瑞樹
エンディングの時、タイムカプセルを
聞きながら胸が熱くなり涙
が出ました。そして、実行
委員長として、全員で作り
上げる附中の文化祭を誇り
に思い、仲間たちへの感謝の
気持ちでいっぱいになりました。
当日までの多くの努力
や苦労を共に経験したから
こそ、感動があったのだと
思います。この文化祭で得
た「つながり」や「感動」
を忘れずにこれからも頑張
りたいと思います。



文化祭report 本物の舞台体験 創造力の放つ輝き

「子どもたちに本物のホールでの発表の場を」という目的で地域のホールを利用して文化祭を開催しています。夏休みの課題や日頃の学習の成果を展示するコーナーでは、高いレベルの作品を熱心に鑑賞する姿が見られました。思いのこもったプログラムには、国文祭の年にふさわしい、多彩な煌めきがあり、子どもたちの豊かな感性とこれからの可能性に大きな希望を感じました。(関連記事 5面)



文化祭を支える

文化祭を終えて
文化祭係 東峯 優作
なげよう僕らのタイムカプセル。輝かしい笑顔と歌声で幕を閉じた今年の文化祭。様々なところで「彩光」を見ることができた。共に全力で一つのものを創り上げる姿は、一人では放つことのできない美しい光を放ち、さらに、一人一人を輝かせていた。共に練習してきた仲間、支えてくれた保護者や先生方に言葉ではなく、「彩光」という姿で思いを伝えてくれた文化祭だった。



第65回 運動会

2015.9.7

共に織りなす五色の光 進め希望の大空へ

大雨のため順延された第65回運動会が開催されました。爽やかな晴天の中一人一人の輝きが集結し、各団が一致団結した感動の運動会となりました。結果は白組が3年ぶりの完全優勝!! 応援の部は白・赤・黄組の3組同点優勝となり新しい歴史を刻みました。



運動会report 運動会への意気込み

- 当日仲間に向けておくれた言葉を集めました。
- 自分の役割をまっとうする
 - みんな大好きだ
 - 本気で優勝
 - バカかと思われるぐらいの大きな声を
 - 情熱 どうせやるなら全力で
 - 思い出に残る日に! 最高なものを創ろう
 - 大人になって熱く語り合える1日にしたい





今年度の広報部のテーマは「豊か～輝ける未来を目指して～」です。今回は成長期の子どもの栄養を補い、「今日も頑張っ」て」という思いも詰まっているお弁当についてアンケートを実施しました。

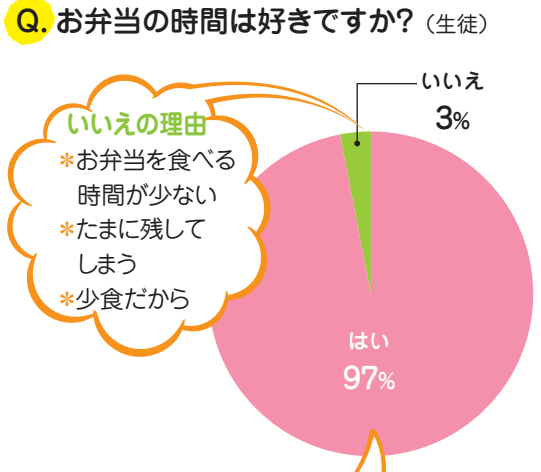
特集 もっと豊かに 心も体も大きくなる



アンケート実施日
平成27年10月8日
回答数(回答率)
生徒: 589名(99%)
保護者: 554名(93%)
御協力ありがとうございました。



お弁当の時間は友達とおしゃべりする楽しいひととき



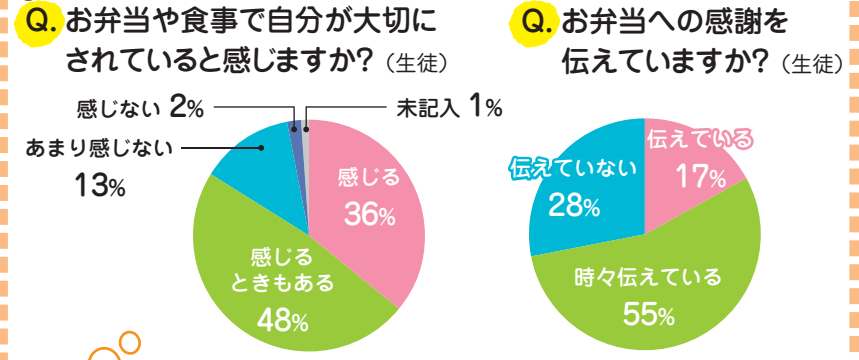
いいえの理由

- *お弁当を食べる時間が少ない
- *たまに残してしまう
- *少食だから

はいの理由

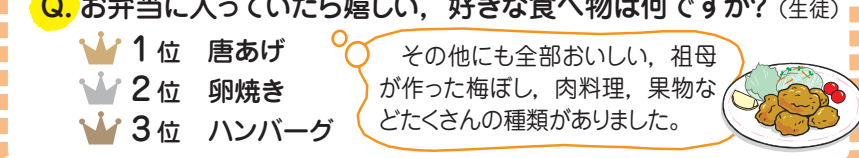
- *友達と話せる時間
- *おいしい
- *リラックスできる時間
- *お弁当の中身が楽しみでワクワクする
- *母の手作りが食べられる
- *授業などで疲れていても元気になる

お弁当から愛情が伝わっています

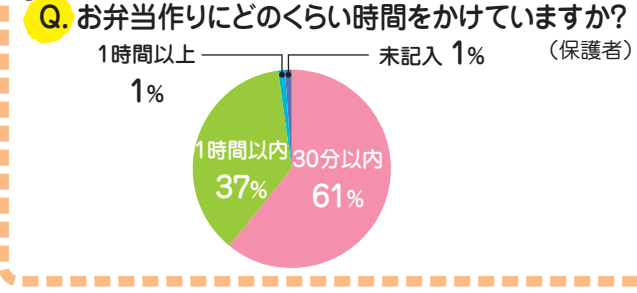


大多数の子どもたちが、食を通して自分が大切にされていると感じています。うまく感謝の言葉を伝えられていない子どもは3割ほどいますが、アンケートには「面と向かって言えないけど、いつもありがとう」「忙しい中、朝早く起きて作ってくれてありがとう。おいしいよ」「これからもよろしく」などのコメントが多数寄せられました。

好きな食べ物、No1は「唐あげ」



お弁当作りは30分以内が過半数

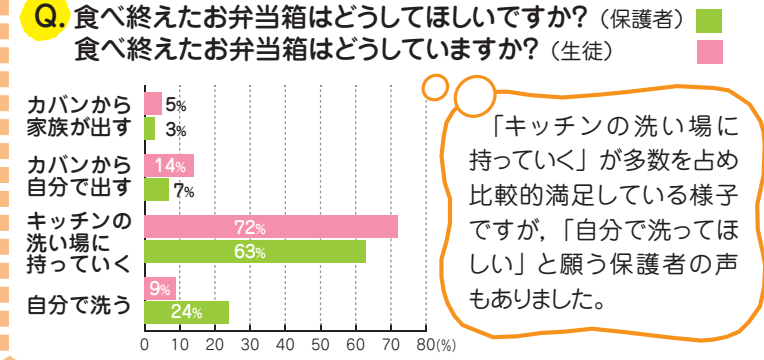


こだわりは「栄養のバランス」と「彩り」

- Q. お弁当作りの工夫、こだわりは何ですか? (保護者)
- *彩りに気を使う
 - *栄養のバランスを考える
 - *野菜を入れる
 - *手作り(冷凍食品を使わない)
 - *体調に合わせてメニューや量を考える
 - *飽きないような味付けをする
 - *肉と魚をローテーションする
 - *体にいい食材を使う
 - *冬は温かいスープを作る



理想と現実を比べてみました



「キッチンの洗い場に持っていく」が多数を占め比較的満足している様子ですが、「自分で洗ってほしい」と願う保護者の声もありました。

大切にしたい食事の作法は「正しい姿勢」

- Q. お子さんに身に付けてほしい食事の作法はありますか? (保護者)
-
- いいえ 24%
はい 73%
未記入 3%
- *姿勢を正しく
 - *はしを正しく使う
 - *食事を残さない
 - *感謝の気持ちをもって食べる
 - *和食や洋食のマナーを身に付ける
- Q. 食事中、親からどのような注意をされますか? (生徒)
- *肘をつかない
 - *はしの持ち方
 - *音をたてない
 - *姿勢を正しく
 - *配ぜんを手伝う
 - *食器を持つ

世界のリーダーシップをとるために 広がれ!可能性

世界とつながる

国立台北教育大学の教育実習生とのつながり

今年度も、昨年に引き続き、国立台北教育大学より8名の学生が訪れ、附属中で教育実習を行いました。子どもたちは英語でコミュニケーションをとり、教室や廊下で楽しく会話する姿が見られました。英語の授業だけでなく、1年生の総合の授業での「アジア・フレンドシップ・プロジェクト」では台湾の文化や風習を伝えていただき、今回初の試みとなった2年生の文化祭での英語の全体合唱では発音や歌詞の意味を教えていただくなどして、交流を深めました。子どもたちは、アジアへ興味を広げ、英語で思いを伝え、表現する喜びを感じたことでしょう。

文化祭 アジア・フレンドシップ プロジェクト 2015年 出逢い編

1年生が「台湾を知り理解するために、鹿児島と台湾の違い、台湾の特色や文化について調べ、そのことをわかりやすく伝えるためにはどうすればよいか」を考え、日本の女の子と台湾の男の子を主人公にした劇として創りあげ、文化祭で発表しました。違いを知るために、「習慣」「伝統芸能」「学校生活」「観光」「食」の5つのグループに分かれて調べ、相手を尊重しながらグループで協力してまとめていく学びを実践し、日本の伝統文化である太鼓やダンスなどを取り上げ堂々と発表しました。世界へ羽ばたく未来を感じさせるプロジェクトになりました。

世界を包み込む 平和への願い

英語で奏でる198人合唱 2年生

受験生への食事ポイント

管理栄養士として活躍されている2年生の保護者、田嶋さんにアドバイスをいただきました。

- 風邪の予防 (鼻やのどの粘膜を守る食材) プロコラーゲン・かぼちゃ・トマト・カラーピーマン・春菊・みかん・キウイなど
- おなかの調子を整える おし麦・さつまいも・なめこ・長芋・のり・納豆・りんごなど 例: 麦ご飯+長芋+のり、「とろろご飯」
- 本番の日いつもの食事を! 体調管理は毎日の積み重ねが大切です。食べ慣れない料理より、いつもの味が安心してお子さんにとってのお守りにもなることでしょう。

アンケートを終えて

毎朝、子どもが元気に一日を過ごせるよう、工夫して作られたお弁当を子どもたちは楽しんで食べています。リラックスするひとときでもあり、食べ慣れた食事に安心感を抱くようです。食を通して自分が大切にされていると感じる時もあり、反抗期といわれる世代ですが男女ともに感謝の気持ちを伝えてくれています。お弁当箱を自分で洗うお子さんは全体でも少数のようですが、自立の一步として食べ終わったお弁当箱をお子さん自身で洗う機会をもうけてはいかがでしょうか。御家庭で食事のマナーやしつけを大切にされていることから、食事が豊かな心をもつ大人への成長に関わりが大きいことを感じました。

先生の中学時代!

中学校の思い出II部活動

二年五組担任 竹下 洋一

「みんなが初心者」という軽い気持ちでハンドボール部に入部し、環境にも恵まれ九州大会出場という貴重な経験をさせてもらいました。いつしか、ハンドボールに対する思いが、学校の先生になりたいという夢へと変わりました。教職に就き、11年目に、この附属中でハンドボール部の顧問になったときは、とても感慨深いものがありました。中学校時代に、何気なく選択した部活動が、人生にこれほど影響を与えてくれるとは思いませんでしたが、そこで得られた経験と人とのつながりは、今でも私の大きな財産です。この二度とない中学校時代に、みなさんにも、人生を左右するような貴重な経験を積んでほしいと思っています。

保健部 鹿附連バレーボール大会
H27.6.20(土)

四年に一度のおもてなし
四年に一度の主幹校として選手
の練習サポートに加え、駐車場の
整理や進行、記録など、保健
部全体で大会運営にあたりまし
た。多くのPTA会員の方々が
応援に駆け付け、手作りうちわ
で声援を送り、それにこたえて
選手の方が白熱した好プレーで体
育館を元気に感動で満たしました。
結果は一位、二位、三位と中
学チームが独占し圧倒的強さを
誇りました。チーム附中の協働
で成功した素晴らしい大会とな
りました。



ピラティスの推進 体が変われば心も変わる

附中生の基礎体力向上を図るために家庭でもできる「ピラティス」を導入し、夏休みに親子で取り組む活動を行いました。各学年のMT(モーニングタイム)の時間に講師の貴島真由美さんをお招きして子どもたちに正しい姿勢とバランスの良い体づくりについて伝えました。

総務部 九附連親睦球技大会in宮崎

朝、学校からバスで出発し、宮崎へ。鹿附連バレーボール大会後も引き続き練習に励んだ先生方と選手の方の気迫あふれるプレーで会場が盛り上がりました。勝利まであと1歩という結果でしたが、全力でボールをつなぎ、鹿児島のパワーをアピールしました。親睦会でも他校の方々との交流が深まり、有意義な一日となりました。



広報部 佳作, 優良賞受賞

皆様のおかげで、平成26年度鹿児島県PTA広報紙コンクールにおいて佳作賞、市広報紙コンクールにおいて優良賞をいただくことができました。御協力いただいた皆様に感謝申し上げます。今後も家庭と学校、子どもたちをつなぐ懸け橋となる広報紙作りを目指します。

義援金ありがとうございました

口永良部島噴火災害に対する義援金を募ったところ、PTA会員の皆様から154,636円の善意が寄せられました。一日も早い復旧を願い、県PTA連合会を通じて送らせていただきました。

研修部 PTAセミナー H27.7.10(金)

保健室から見た附中生の現在

本校養護教諭 藤田 倫子先生
保健室を訪れる子どもたちとの対話から、日々感じていらっしゃることを、生活習慣のアンケート結果を交えながらお話をいただきました。
「家庭は安らぐ場で、親が大好き。家庭での笑顔は子どもたちの元気の源です。子どもは自立する力を秘めているので、子どもの自主性を重んじ目配りしながら、子どもの困っている事に寄り添い、一緒に考えていきましょう。」と、思春期の子どもとの向き合い方に、多くの保護者が耳を傾けました。

研修視察旅行 H27.9.29(火)

甲南高校と鹿児島高校の建学理念、進学状況を各学校の先生からお聞きし、授業風景や施設を見学しました。お昼はサンロイヤルホテルにて鹿児島のお茶を使った特別メニューをいただきました。
鹿児島市交通局では電車整備工場や資料館を視察しました。進路や交通の安全や公共のマナーについて考える実り多い一日となりました。悪天候の中、100名を超えるPTA会員の参加をいただきました。



コース 甲南高校 → 鹿児島高校 → 鹿児島市交通局

生活部 校外補導の実施, 及び公共交通機関マナー実施調査

生活部では、登校時のあいさつ運動、公共交通機関の利用マナーの実態調査を行いました。また、生徒の校外での様子を見守る活動も行われました。交通マナーに関しては、家庭と学校の指導により改善がみられるようです。その一方で、指摘をいただくこともあります。通学範囲が広く、公共交通機関を利用する生徒が多い附中生の登下校時の行動は日々、注目されています。公共の場所での服装やふるまいについて、生活部便りで情報を共有し、親子で話す機会を促しています。
子どもたちの健全な成長を願い、生活指導や基本的な生活習慣の定着の取組を続けていきます。



同窓会からプレゼント

よりよい環境のために
本校卒業生の同窓会より中学生の後輩たちへ左記の品を寄贈いただきました。
● 体育館の電動大型スクリーン
● プロジェクター二台
● 附属中ホームページの内容充実
恵まれた環境設備に感謝し、更なる学びに活用させていただきます。

修学旅行

11月3日～6日 日本の文化と歴史, 世界の観光都市にふれる旅

2年生

1日目 奈良・東大寺・薬師寺



2日目 京都自主研修



4日目 神戸異人館地区散策・人と防災未来センター 神戸ハーバーランド



修学旅行を振り返って
実行委員長 荒田 健友
修学旅行では、普段と違う生活を送り、たくさんのお話を学びました。一人一人のよさや伸ばすべき所をしっかりと自覚し、これからの生活に生かせるように百九十八人全員で高め合っていました。

3日目 平等院鳳凰堂・ユニバーサルスタジオジャパン



豊かな体験学習 ~友と学び, 協力し, 成長し続ける附中生~

それぞれの体験を通して多くの方々に御協力いただきました。そのかわりの中でお互いを思いやる気持ち、感謝する心、自ら考える力など、人間的にひとまわり大きくなりました。

宿泊学習 11月4日～6日

自然と共存, 仲間と協同
「199の未来への挑戦
はつらつとした笑顔で深い絆を目指す旅」



- 1日目 農業, 林業 自然体験
 - 2日目 横岳登山
 - 3日目 ものづくり
- 宿泊学習を振り返って
実行委員長 三好 伶旺
僕たち百九十九名は、これからの未来のためにこの三日間で、全体が成長できるような活動をしてきました。この三日間で学んだことを忘れず、学校や家庭生活に生かして、行動で人を感動させられるようになりたいです。

職場体験 11月5日～6日

社会につながる大人への一歩



生徒たちの感想より
● 周りを見ながら臨機応変に働く大切さと自分の力を誰かのために尽くすばらしさを学びました。
● 表に見えること裏には、その何倍もの苦労がかかっていることがわかりました。仕事の裏に何があるのかを見て、それに対して自分ができることを考えて行動できる人になりたいです。
● 一生懸命仕事をされている姿がとてもしっかりとていいと思いい、将来自分もそのようになれたらいいなと思いました。
様々な業種48ヶ所の事業所に御協力いただきました。